



統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター 開設 10 周年記念

第 7 回 生物統計ネットワークシンポジウム

日時：平成 28 年 3 月 28 日（月）10:00～17:30（開場 9:30）

会場：一橋大学 一橋講堂

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 2 階

会場案内：http://www.hit-u.ac.jp/hall/file/menu-016/file_01.pdf

10:00-10:15 開会の挨拶・趣旨説明

山下 智志（統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター センター長）

松井 茂之（名古屋大学，統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター 客員教授）

第 1 部：生物統計方法論の深化に向けて（10:15-12:00）

座長：松井 茂之（名古屋大学），服部 聡（久留米大学）

- 生物データから動機を得た数理統計研究：ロバスト統計，多重検定。
藤澤 洋徳（統計数理研究所）
- 欠測データ解析：多重代入法と感度分析の最近の発展について
星野 崇宏（慶應義塾大学）
- ベイジアン・アプローチに基づくデータ科学駆動型薬剤分子探索
吉田 亮（統計数理研究所）
- 因果推論を少しだけ再考する
黒木 学（統計数理研究所）

12:00-13:30 昼食

第 2 部：産・官・学における生物統計家の貢献：立ち上げからこれまで，そしてこれから （13:30-16:50）

アカデミアの立場から（13:30-14:45）

座長：手良向 聡（京都府立医科大学），山中 竹春（横浜市立大学）

- 臨床研究に必要なものは何か？
手良向 聡（京都府立医科大学）
- わが国における生物統計家の基盤の活用に向けて
山中 竹春（横浜市立大学）
- がんの治療開発と臨床導入への生物統計家の関与
柴田 大朗（国立がん研究センター）
- ◎ 総合討論

14:45-15:00 休憩

製薬企業の立場から (15:00-16:10)

座長：小山 暢之 (第一三共), 菅波 秀規 (興和)

- 企業における体制強化の歩みと今後の課題
小山 暢之 (第一三共)
- ICH E17: Multi-Regional Clinical Trial での議論・課題：企業の立場から
山本 英晴 (中外製薬)
- ICH E9(R1) での議論・課題：企業の立場から
土屋 悟 (大日本住友製薬)
- ◎ 総合討論

16:10-16:20 休憩

規制当局の立場から (16:20-16:50)

座長：大森 崇 (神戸大学), 柴田 大朗 (国立がん研究センター)

- 生物統計審査の立ち上げから現在、そして今後の展望について
安藤 友紀 (独立行政法人 医薬品・医療機器総合機構)

特別講演 (16:50-17:20)

座長：松井 茂之 (名古屋大学)

- 統計科学における生物統計・公的統計・統計的品質管理の共通性と独自性
樁 広計 (統計数理研究所 名誉教授, 独立行政法人 統計センター)

17:20-17:30 閉会の挨拶

黒木 学 (統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター 副センター長)

問い合わせ先：

統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター

〒190-8562 東京都立川市緑町 10-3

TEL: 050-5533-8440

E-mail: biostat@ism.ac.jp

HP: <http://www.ism.ac.jp/risk/>